



カケハシ・プロジェクト招へいプログラムの記録

対象：ユダヤ系米国人第1陣（米国）

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」として、米国からユダヤ系米国人15名が2019年1月6日～1月13日の日程で来日し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策などの対日理解促進を目的としたプログラムに参加しました。講義、視察、日本人との交流などを通じて幅広く日本を理解する機会を持ち、各々の関心事項や体験についてSNSを通じて対外発信を行いました。また、帰国前のワークショップでは、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について発表しました。

【参加国・人数】

米国：15名（American Jewish Committee（AJC））

【訪問地】

東京都、京都府

2. 日程

1/6(日)	【来日】 【オリエンテーション】 【視察】浅草・仲見世通り
1/7(月)	【講義】外務省 【視察】江東区深川江戸資料館 【視察】秋葉原・上野公園・アメ横
1/8(火)	【視察】パナソニックセンター東京 【視察】皇居 【視察】特定非営利活動法人 杉原千畝命のビザ
1/9(水)	【表敬訪問】米国大使館 東京都から京都府へ移動 【視察】金閣寺
1/10(木)	【文化体験】座禅体験（勝林寺） 【視察】東福寺 【視察】新京極・錦市場 【学校交流】同志社大学 京都府から東京都へ移動
1/11(金)	【表敬訪問】イスラエル大使館 【表敬訪問】菅内閣総理大臣補佐官

1/12(土)	【ワークショップ】 【視察】原宿・表参道・明治神宮
1/13(日)	【文化体験】茶道体験（八芳園） 【離日】

3. プログラム記録写真

	
1/7【講義】外務省	1/7【視察】江東区深川江戸資料館
	
1/8【視察】パナソニックセンター東京	1/8【視察】特定非営利活動法人 杉原千 畝命のビザ
	
1/9【視察】金閣寺	1/10【文化体験】座禅体験（勝林寺）
	
1/10【学校交流】同志社大学	1/13【文化体験】茶道体験（八芳園）

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 米国，社会人

東京の杉原千畝命のビザ訪問ではお孫さんから直接説明を受け、非常に感銘を受けました。今回参加した仲間のお祖父様は、実際命のビザによって亡命できた経緯があり、その子孫と共に記念館を訪問できたことは、とても貴重な経験、そして忘れることができない思い出となりました。

ユダヤ教やシオン主義に関する研究に従事する学生や研究者の皆さんとの交流では、お互いの興味や研究テーマについて意見を交換し、とても有意義な時間が過ごせました。時間が許せば、もっと話をしたかったと思ったほどです。

来日前は日米関係、日本とイスラエルの関係について、ニュースで伝えられる報道内容程度の知識しかありませんでした。しかしプログラムを通じ、日本の外務省、在日米国大使館やイスラエル大使館訪問から、外交や諸政策の重点事項や今後の展望についてのお話を伺い、理解を深め、また外交についての興味も深まりました。

◆ 米国，社会人

最も印象に残るプログラムは、杉原千畝さんの御孫女の杉原まどかさん自らが館内に展示された数々の写真について、じっくりと丁寧に説明して頂けたことです。身内だからこそ知り得る心温まるエピソードやお話もあり、忘れがたい思い出となりました。今回の来日では、改めて清潔な街、秩序ある社会、また礼儀正しく、相手を思いやる気持ちを持った日本社会と日本人は素晴らしいと感じました。日本人の気配りや心遣いが、私達の社会にも根付くことができれば良いと感じました。実施団体やプログラム関係者のサポートは手厚く、安心して滞在を楽しむことができました。まるでセレブのような扱いを受け、感謝のしようがありません。同志社大学での交流では、我々のルーツであるイスラエルに興味を持つ学生と意見交換ができ、私自身もそこから学ぶ事が多かったです。また、在日イスラエル大使館の表敬訪問では、非常に気さくな大使と直接お話しができ、とても楽しい時間を過ごすことができました。

◆ 米国，大学院生

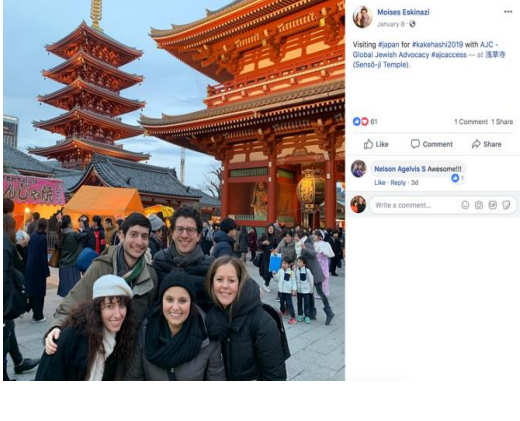
カケハシ・プロジェクトへの参加は、間違いなく生涯忘れることのできない思い出となりました。日本の歴史、文化、社会、政治そして経済について色々な角度から見聞きし、興味と理解を得ることができました。また歴史的な場所への訪問、そして最先端技術についても触れ、過去から未来、日本の発展と今後について段階を追って理解する事ができました。また、外務省関係者や大使館への表敬訪問では、これまであまり馴染みのなかった外交や政策、各国間での協調について知識を深めることができ、自分自身知識の構築ができたこと、大変嬉しく思っています。

5. 受入れ側の感想

◆ 受入れ学校関係者

今回訪問された訪日団はハイレベルかつ多様なグループであり、本学の学生達は彼らと会う機会ができて大変喜んでおり、活気的な談話を両グループの間で設けることができました。

6. 参加者の対外発信

	
プログラムについての発信（Instagram） 全員が楽しみにしていた古都京都訪問での発信：金閣寺，錦市場，禅体験，日本の歴史は奥が深い！	視察についての発信（Instagram） テレビや雑誌で見た浅草からの発信：間違いなくここは日本！